



## 子育て支援に関する講座【北信:長野市】

子育て、親育ち、親子の絆、あるいは子育て支援のあり方等について考え合う学習を進め、子どもや若者、家庭を支援するために地域の大人としてできることを北信地区放課後子ども総合プラン研修会において開催しました。放課後子ども教室、放課後児童クラブ、児童館に携わるスタッフの資質向上を目指し、多様な子どものストレス反応への理解と対応や子どもにSOSを出してもらえる大人になるために出来ることを、参加者のみなさんと一緒に考えました。

具体的な事例をもとに特性により苦戦する姿を紹介していただくことで、日頃関わっている子ども達が出すサインに気づく大切さを学ぶことができました。

(受講者 129名)



### 〈研修内容〉

- 講義 演題 「子どものサインが見えますか？  
～発達特性により苦戦する子どもの理解とその対応～」  
講師 信州大学 学術研究院教育学系  
准教授 茅野 理恵 氏
- 情報交換 「日頃の取組の様子や悩みについての情報交換」



### 受講者アンケートから

- 今、勤務している学童保育所にも先生のお話に当てはまる児童が多数いますので、今日お聞きしたお話を参考に今後の児童への関わりの参考にしていきたいと思えます。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。今後も自分の身体にも気を付けながら、自分が関わる子供達の気持ちに出来るだけ寄り添い関わって行けたらいいなあと思いました。ありがとうございました。
- 困った子が困っている子であることに気付かせて頂きました。子どもたちの行動の背景を考える力を養いながら、子供たちに安心を届けることのできる大人を目指していきたいと思えます。
- 我儘な子、失礼な子と言われる子供達はその子一人一人に特性があり、それを理解して一緒に考えてあげることが大事だと思えました。また、その子自身の特性を理解した上での関わり方、伝え方など曖昧な表現ではなく、もっと具体的で順番にゆっくり説明するなど。かなり勉強になりました。
- それぞれの学童、児童館で苦慮しているケースがあることがわかった。